

言葉の意味が分かること(1)

めあて 文章の要旨をとらえるために、構成と内容を確認かめよう。

【学習の進め方】

- ① 文章に**段落番号**をつけましょう。
- ② 段落を「**はじめ**」「**中**」「**終わり**」に分けましょう。
(「中」は、三つの例が示されているので、三つにわけます)
- ③ 文章の中で「**大切だな**」と**思うところ**を、かじょう書きでかんとんにまとめてみましょう。
- ④ **筆者がいちばん伝えたいこと**はどんなことか考えてみましょう。

この書き方を参考にして、ノートに書きましょう。
わからなかったり、まよったりしたときは、次のページの「**まとめ方の例**」を参考にしてください。

終わり	中			はじめ	構成
					段落
					大切な言葉

【まとめ方の例】

構成	はじめ	中	終わり
段落	1	7 6 5 4 3 2	1 1 2 1
大切な言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味には広がりがある。 ・それを知っておくと、ふだん使っている言葉やもの見方を見直すことにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コップ」という言葉には、色や形、大きさ、使い方など広がりがある。 （「コップ」の例） ・「歯でくちびるをふんじった」という言いまじがいの例） ・言葉の意味のはんいを広げて使いすぎるとうまくいかないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの言葉をどのはんいまで広げて使うかは、言葉によってことなる。 （世界中の言語の例） ・言葉を学んでいくときには、言葉の意味を「面」として理解することが大切

言葉の意味が分かること(2)

めあて 表現や構成に注意して、文章の要旨をとらえよう。

「言葉の意味が分かること」の要旨をノートにまとめてみましょう。(百五十字くらい)

- (1)でまとめた「大切な言葉」を使ってまとめるとやりやすいです。
- 要旨は、「はじめ」「終わり」の段落に書かれていることが多いです。

(例) 言葉の意味には広がりがあり、それを知っておくとふだん使っている言葉やもの見方を見直すことにつながる。言葉を学んでいくときには、言葉の意味を「面」として理解することが大切である。「言葉の意味は面である」ということについて考えながら言葉を学んでほしい。